



いすぐみだよい



～感触や形の変化を楽しむことができる新聞紙遊び～

新聞紙遊びでは、「ビリビリ」とちぎる音や「ひらひら」と上から落ちてくる様子などに面白さを感じている子ども達。何度も触れるうちに、大胆な遊び方へと発展していく姿が見られます。



ひらひらしてる～

ほくは新聞紙で
ピカチュウの耳を作ったんだ！

♪ あつめて～あつめて～いちにのさん！

初めての遊びに不安を感じやすい子も、安心できる保育士と一緒に新しい素材に触れてみよう！とする姿が見られるようになり、成長を感じます。

ちぎった新聞紙の上にゴロンと横になる子へ、布団に見立てて新聞紙をかけてあげたり、「ピカチュウになりたい！」という声を拾い、一緒に耳やしっぽ、モンスターボールを作ったりと、遊びの中で、その子が感じている面白さや楽しさに共感し、遊びを展開しています。